

## 第19回常民文化研究講座 シンポジウム「漁場図」を読む

日 時：2015年12月5日(土)13:00～18:00  
会 場：神奈川大学 横浜キャンパス 3号館305教室  
内 容

「なぜ『漁場図』が残ったかー常民研資料からー」 窪田涼子・越智信也  
「松江藩・島根県の『漁場図』情報を読み解くー歴史学からのアプローチー」 伊藤康宏  
「近世・明治期の漁場図、沿岸絵図にみる景観表現ー歴史地理学からのアプローチー」 橋村 修  
「漁場図の活用と可能性ー地理学からのアプローチー」 横山貴史  
「ヤマアテと漁場図ー民俗学からのアプローチー」 安室 知

総合討論  
「漁場図研究のこれから」 パネリスト全員(司会：安室 知)

主 催：神奈川大学日本常民文化研究所

お問い合わせは、日本常民文化研究所  
TEL045-481-5661 内線4358

## 国際常民文化研究機構 国際研究フォーラム2015 “ホモ・マテリアル”ー人と民具と暮らしの国際比較ー

日 時：2016年2月20日(土)10:00～17:50  
会 場：神奈川大学横浜キャンパス 24号館105教室  
趣 旨：“暮らし”の中で作られ、使われてきたモノ、民具の基本的な形態や機能を手がかりにする方法論を確立することで、生活文化の基本的なありかたの国際的な比較ができる。このフォーラムで、民具を通して“人”の個性と普遍性を探る国際常民文化研究の可能性の一例を提示したい。

内 容：講師に、佐野賢治の他、神野善治、J・キブルツ、山田昌久、真島俊一、他中国・韓国の研究者を招いて、“mingu”を総合的に検証する。

### 非文字資料研究センター 研究成果報告書

#### 北九州市若松洞海湾における 船上生活者の歴史の変容

ーオーラルヒストリーからのアプローチー

●2014年3月20日刊行

●内 容：

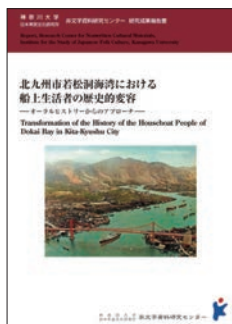
論文編

- 第1章 洞海湾の変遷と港湾輸送(田上繁)
- 第2章 洞海湾若松港における船舶輸送(森武磨)
- 第3章 洞海湾若松港における港湾荷役業(松本和樹)
- 第4章 船上生活者の暮らし(安田常雄)
- 第5章 船上生活と子供たち(藤川美代子、田上繁)

資料編

- オーラルヒストリー
- ・船上生活者のオーラルヒストリー
- ・若松児童ホーム関係者のオーラルヒストリー
- ・荷役会社経営者のオーラルヒストリー
- ・港運会社経営者のオーラルヒストリー
- ・造船会社経営者のオーラルヒストリー
- ・船食会社経営者のオーラルヒストリー

写真資料



### 海外神社とは？ 史料と写真が語るもの

●津田良樹・渡邊奈津子(編集・執筆)

●2015年3月31日発行

●発 行：非文字資料研究センター

●内 容：

2014年3月に行われた展示会

『海外神社とは？史料と写真が語るもの』の展示図録

- ・東南アジア
- ・台湾
- ・満州～中国東北部～
- ・中華民国～中国～
- ・南洋群島～北マリアナ諸島・パラオ共和国等～
- ・朝鮮～韓国・朝鮮～
- ・関東州～中国東北部～
- ・樺太～サハリン～



### 非文字研究者の新刊紹介

※内容につきましては、  
目次より抜粋して紹介しました。

#### 安さんのカツオ漁

川島秀一(著)

●2015年1月15日発行

●発 行：富山房インターナショナル

●価 格：1,800円(税別)

●内 容：はじめに 一三陸から土佐へ

- I 久礼への旅
- II 絵馬に描かれたカツオ漁
- III 安さんのカツオ漁 一昭和のカツオ漁民俗誌
- IV 「鮭買日記」に描かれたカツオ漁 一鮭買の旅を追う
- V 震災年のカツオ漁
- VI カツオ漁の風土と災害
- VII カツオ漁の旅



## 非文字資料研究 No.34

発 行 日 2015年9月30日発行

編集・発行 神 奈 川 大 学 日本常民文化研究所 非文字資料研究センター

Research Center for Nonwritten Cultural Materials,  
Institute for the Study of Japanese Folk Culture, Kanagawa University  
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

■Tel.045-481-5661 ■Fax.045-491-0659 ■URL <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

